

名古屋大学減災連携研究センターでは、地震災害、水害、土砂災害など、あらゆる災害に関する研究を進め、その成果を皆様の家庭や地域での防災・減災活動に役立てていただけるよう、日々活動しています。その中でも重要な取り組みの一つが、過去に起こった災害について調査・研究を行う事です。

南海トラフ地震のような大きな地震災害は、はるか昔から繰り返し発生しています。一昨年の西日本豪雨による水害や土砂災害も過去に同様の被害を生じています。過去に起こった災害の大きさや被害エリアに関する知見を得ることは、将来発生する災害に備える上で大変重要です。

私達は、皆様から頂いたご支援で「災（さい）とSeeing 災害を伝える場所を巡るオンラインツアー特別研究チーム」を編成し、どなたでも自宅にしながら、災害を今に伝える場所を巡る疑似体験をしていただけるよう、この地域で発生した災害を皆様とオンラインで共有するコンテンツを作成します。実際に過去に災害が起こった場所を訪れ、地域で起こった災害の歴史を直視し、その場所で考えていただくことが個々人の防災意識の向上には不可欠で、またそれが事前防災の行動につながっていくの思いを強く持っております。本来であれば、実際に現地を巡るツアーを企画したいところです。しかし、コロナ禍でそれが困難であることから、少しでもそれに近い形で体験をしていただける映像コンテンツを発信し、皆様の防災意識の向上に貢献したいと考えています。

一人一人が地域で発生する災害について知ることは、身の回りに起こる災害を自分事として考え、家族や親せき、友人など、大切な人を守るための行動に繋がります。自分事として考えることで、避難場所の確認や住宅の耐震化、隣近所や地域との助け合いなどの共助の取り組みを進め、切迫する大きな災害を乗り越える力を身につけることが期待できます。

皆様方のご支援を、何卒よろしくお願い申し上げます。



減災連携研究センター長

福和伸夫

ご寄附のお申込み方法

- ・下記URLからお申し込みください。

(<https://readyfor.jp/projects/nagoya-gensai2020>)



- ・詳細はWebをご覧ください。

レディーフォー 災とSeeing

検索



名古屋大学



READYFOR

いただいたご支援は、クラウドファンディングサービス  READYFOR を通じて本学に寄附されます。

本プロジェクトの目標金額は 100 万円です。申込期限内に目標金額のご支援が集まった場合に成立となり、ご支援を活用させていただき、コースに応じた感謝のお気持ちをお返しさせていただきます。

不成立となった場合、Readyfor または名古屋大学は、ご支援者様に対し、ご支援金を返金いたします。なお、ご支援者様と連絡がとれない場合、ご支援者様の返金口座が不明である場合、その他ご支援者様に対する返金ができない場合、Readyfor または名古屋大学は、その判断により、返金できなかったご支援金を Readyfor 所定の団体に寄附させていただきます場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お問合せ

〒464-8601

名古屋市中区千種区不老町

名古屋大学減災連携研究センター

FAX:052-789-5023

E-mail: fund@gensai.nagoya-u.ac.jp



減災連携研究センター

令和2年10月19日(月)~11月30日(月)

クラウドファンディング実施中
災害を今に伝える場所を巡る
オンラインツアー
「災(さい)とSeeing」

『災(さい)とSeeing』 過去の災害を今に伝える場所から学び、 将来の災害に備えるオンラインコンテンツ！

おすすめツアーコースを選択するとツアーを疑似体験できます。



▼過去の災害を今に伝える場所から学ぶ

右の写真は、愛知県の渥美半島の伊良湖岬灯台のふもとに残る「津波石」です。

津波石の重さは推定 150 トン！地質の状況から沖合 700m の場所から運ばれたものと推定されています。このような巨大な石を運ぶほどの大津波が過去にこの地域を襲っていたのです。

こうした、過去の災害を今に伝える場所から教訓を感じ取り、「我が事感」を持って将来の災害に備えることが大切なことだと、私たちは考えています。



▼過去の災害から学ぶツアーを疑似体験

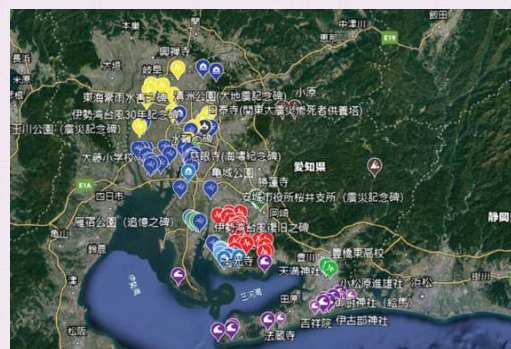
地図・写真・現地を巡る動画を組み合わせ、災害を今に伝える史跡などを巡るツアーを疑似体験できる、オンラインのプログラム(映像コンテンツ)を制作します。見どころや学びのポイントがわかりやすく解説されたコンテンツです。この映像コンテンツにより、過去に災害が起こった場所を実際に訪れたかのように臨場感を持って体験でき、防災意識の向上に資する、ついでに地域の防災力の向上に貢献することを期待しています。

これら制作した映像コンテンツは、名古屋大学減災館内の展示スペースで体験可能とするとともに、一般向けにもオンライン公開し、新型コロナウイルス感染症の流行下においても学びの機会を保ち、災害に強い持続可能な社会の構築に貢献したいと考えています。

どうかその実現に向けて、あたたかいご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

上：映像コンテンツのイメージ(東三河ドライブルート編)

下：災害スポット紹介マップのイメージ



地図上をクリックすると各スポットの
写真や資料を視聴可能！
過去の災害の教訓から将来の災害への
備えを学びます。

皆様のご大切なご寄附は、
下記の事業に使用させていただきます。

- 過去の災害を今に伝える場所の情報を収集し、整理します。
- 地域の良さも同時に感じることでできるツアーコースを作成します。
- コースに沿った映像とマップを用意し、過去の災害の教訓をオンラインでありながら、実感できる映像コンテンツを制作します。
- 名古屋大学減災館内の展示スペースで映像コンテンツを体験可能とするとともに、一般向けにオンライン公開します。

■寄附を頂いた皆さまへのリターン

(メニュー)

- A：お礼状
- B：歴史災害探訪カレンダー（2021年度版）
＋おすすめドライブコースのガイド（全3種類）
- C：映像コンテンツのオンラインセミナー（全3種類）
- D：減災館ツアーにご招待
- E：銘板にお名前を記載し、減災館に展示

寄附金額	リターンの内容
3,000 円	A
5,000 円	A
10,000 円	① A
	② A、B（ガイドはいずれか1種類）、C（セミナーはいずれか1種類）
20,000 円	A、B（ガイドはいずれか2種類）、C（セミナーはいずれか2種類）
50,000 円	A、B（ガイドはいずれか2種類）、C（セミナーはいずれか2種類）、D
100,000 円	A、B（ガイド全3種類）、C（セミナー全3種類）、D
200,000 円	A、B（ガイド全3種類）、C（セミナー全3種類）、D、E

目標金額 1,000,000円

名古屋大学へのご寄附については、税制上の優遇措置が受けられます。

詳しくは下記URLをご覧ください。

<https://readyfor.jp/projects/nagoya-gensai2020>

寄附金領収書：2021年1月の日付にて発行予定です。

その他リターン：【A・B】2021年4月末までに発送予定です。

【C・D・E】2021年9月末までに実施予定です。